

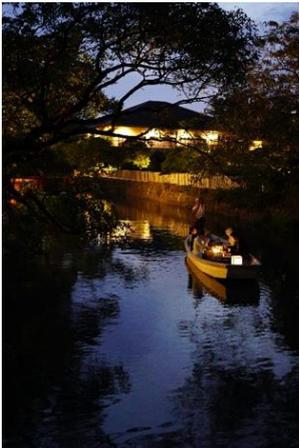
トップ画像写真「柳川市」について

柳川市は人口約62,000人、面積77.15㎢となっており、福岡県の南西部に位置し、南側には水深の浅い有明海が一面に広がっています。

市全域が平坦な地形で、先人の知恵と技術によって、市全域に縦横に水路が巡る独特の景観が築かれ「水郷柳川」と呼ばれています。

総延長約930kmに及ぶ水路は農業用水として本市の産業を支えているほか、城下町の「掘割」と呼ばれる水路では、川下りコースとして観光にも活用されています。

来年3月には旧柳川市・大和町・三橋町による1市2町の合併から20周年を迎え、今後も掘割をまちづくりに活かしながら良好なかたちで後世につないでいきます。



【灯り船】

船頭の巧みな竿さばきや軽快な語り、舟歌にエスコートされるどんこ舟の旅「川下り（お堀めぐり）」は、縦横に掘割が走る水郷のまちならではの観光です。

夏シーズンには、昼間とはまた違った風情を見せる夕涼みの中、特別な夜をお楽しみいただける夜の「灯り舟」を運航いたします。

「灯り舟」のためにライトアップさせた約4kmのお堀を、ゆったりめぐり、夜の柳川をお楽しみいただけます。



【柳川むつごろうランド】

有明海に面している柳川むつごろうランドでは、有明海や干拓地を活用した伝統的な漁法である「くもで網漁」体験や、有明海固有の生物であるムツゴロウを釣る「ムツかけ」体験などの各種体験ができ、そのほかにも研修、宿泊、キャンプ、バーベキューなどが楽しめる拠点施設です。

また、柳川むつごろうランド西側にある柳川ひまわり園では、5ha 約50万本のひまわりが、9月に開花予定です。



【柳川観光ブドウ園】

柳川市南部の干拓地が広がる両開地区で育った「干拓巨峰」は、有明海の潮風を浴びて土壌に塩分が多く、太陽と潮風を浴びてとても甘くなることが特徴です。この「干拓巨峰」をより多くの方に味わっていただけるよう、柳川観光ぶどう園を8月に開園し収穫体験や販売を行います。